

電波時計

(置時計)

目次

1. ご使用上の注意	P.2
ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。	
2. お手入れについて	P.3
3. 電波時計について	P.4
電波時計の特徴やお使いいただける環境が書いてあります。	
4. ご使用場所について	P.5
時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。	
5. 各部の名称と役割	P.6
各部の名称やその役割について書いてあります。	
6. 時計の使い方	P.7
電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。	
7. 電波受信の流れ (受信表示ランプの見方)	P.8
8. 電波受信スイッチ	P.8
9. 電波を受信できない場合	P.9
電波を受信できないときの対処方法が書いてあります。	
10. 電池交換時期のお知らせ機能	P.10
11. 明暗センサー	P.10
12. おもな製品仕様	P.11
アフターサービスについて	P.12
お問い合わせについて	P.12

1. ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

禁止



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



注意



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。



直射日光など強い光を受けないようにしてください。変色や変形などの原因となります。



急激な温度変化を与えないでください。ひび割れなどの原因になります。

2. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

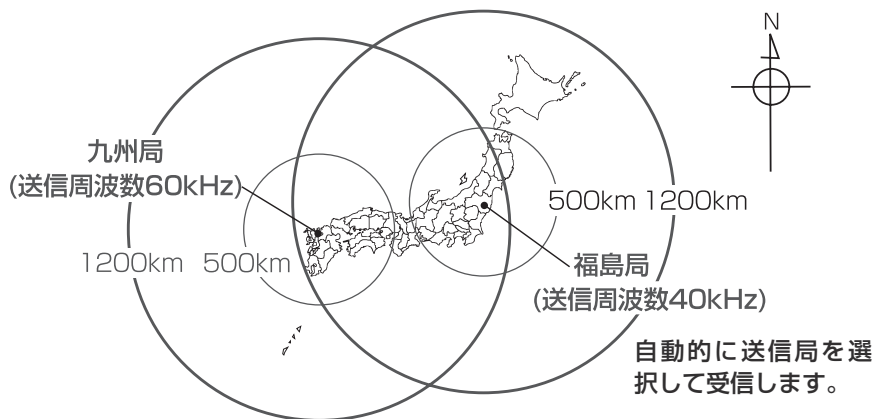
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

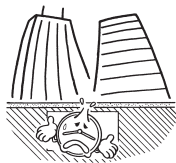
この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信スイッチを「OFF」にしてお使いください。

4. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤った表示をすることがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



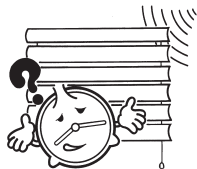
工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃ (50 度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃ (氷点下 10 度) 以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まる可能性があります。
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。



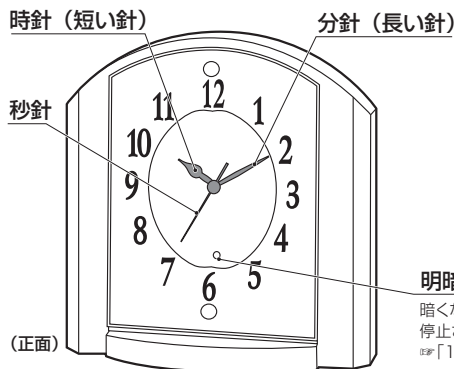
禁止



注意

5. 各部の名称と役割

● 図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。



…… 時針・分針の動き ……

時刻修正: 早送りで順方向に動きます。

通常表示: 10秒単位に動きます。

……… 秒針の動き ……

時刻修正: 早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。

通常表示: 滑らかなステップで1秒単位に動きます。

明暗センサー

暗くなると秒針を12時位置で停止させます。

☞「11. 明暗センサー」(P.10)

強制受信ボタン

電池を入れた、場所を変えた、誤表示をした、受信確認ボタンを押して受信表示ランプが点滅した、いずれかに該当したときに押します。

時刻合わせボタン

電波を受信できないとき、手で時刻合わせをするときに使用します。

受信確認ボタン

電波受信の結果を受信表示ランプで確認するときに押します。

受信成功: 5秒間点灯

受信失敗: 5秒間点滅

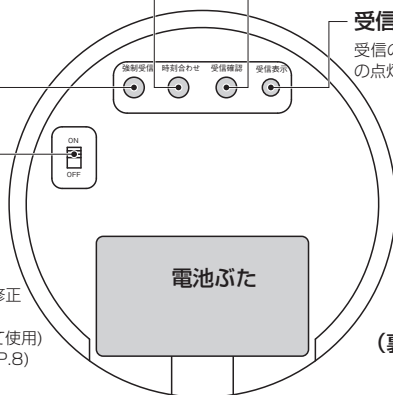
※24時間以内の受信結果を表示します。

受信表示ランプ

受信の進行状態や受信結果をランプの点灯・点滅・消灯で知らせます。

電波受信スイッチ

ON: 電波を受信して時刻修正
OFF: 電波を受信しません
(通常のクォーツ時計として使用)
☞「8. 電波受信スイッチ」(P.8)



…… 同一機能商品例 ……

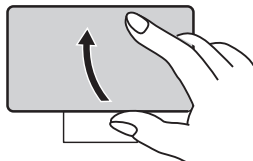


6. 時計の使い方

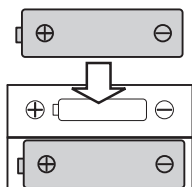
電波受信スイッチをONにします



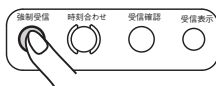
電池ふたを取り外します



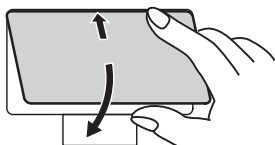
新しい電池を入れます



強制受信ボタンを押す



電池ふたを取り付けます



差し込んでから取り付ける



受信表示ランプが消灯してから受信確認ボタンを押します



手動で時刻を合わせるときは、「9.電波を受信できない場合」の「手動での時刻合わせ」をお読みください。

◎窓際などに置くと電波を受信しやすくなります。

① 電波受信スイッチをONにする

② 電池ふたを取り外す

③ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形アルカリ乾電池を入れます。⊕⊖を間違えると時計は正常に動きません。

※電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池を使用してください。

※電池を逆向きに入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

④ 電池ふたを取り付ける

⑤ 強制受信ボタンを押す

電池を入れた後は必ず押してください。受信ランプが点灯し電波受信状態になります。

※針は止まったままですが故障ではありません。

※受信中はボタン操作をしないでください。

⑥ 電波受信の結果を確認する

受信には2～15分かかります。受信表示ランプが消灯し、針が動き出すまで待ち、受信確認ボタンを押します。

☞ 「7. 電波受信の流れ (受信ランプの見方)」 (P.8)

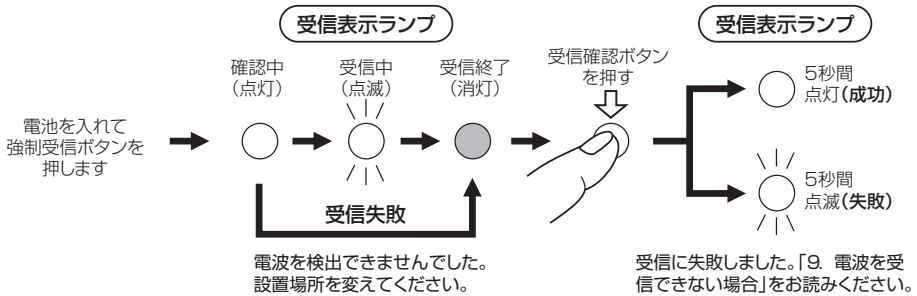
受信成功: 5 秒間点灯→正しい時刻

受信失敗: 5 秒間点滅→不正確な時刻

☞ 「9. 電波を受信できない場合」(P.9)

※まれに受信に成功してもノイズなどにより誤った表示をすることがあります。設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

7. 電波受信の流れ（受信表示ランプの見方）



8. 電波受信スイッチ

受信できない、または誤受信しやすい場所で使用する場合や意図的に表示時刻を変えてお使いになるときは、電波受信スイッチを OFF にします。このときの時間精度はクォーツ精度になります。

- OFF にするとクォーツ精度で時刻を表示し、電波を受信して時刻の修正をしません。
- 受信に成功した状態で電波受信スイッチを OFF にすると、OFF にしてから 24 時間以内に受信確認ボタンを押すと、受信表示ランプが点灯することがあります。
- OFF のときに、電池を入れたり強制受信ボタンを押すと、電波受信スイッチが ON のときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

電波受信スイッチ OFF での電池交換

すべての電池を交換し、強制受信ボタンを押してください。電波受信スイッチが「ON」のときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。その後、必要に応じて、手動で時刻合わせをしてください。

9. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合は3通りの対処方法があります。

① 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、翌朝まで様子を見ます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

② 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

窓際など比較的電波を受信しやすいところで、送信所の地図(P.4)を参考に、時計の正面または裏面が送信所の方向に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

③ 時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクォーツ精度になります。

※電波受信スイッチをONの状態、電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送りまたは停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信スイッチがONの状態、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
- ※秒針は時刻合わせボタンを押している間、“0秒”に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

10. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止します。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間^{注)}時刻を表示し続けますが、早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

※この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、**松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」**を使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの障害が発生することがあります。

電池からの液もれに注意



時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると電池から液もれが発生して、時計や家具などに損傷を与えます。時計が止まったら電池を新しいものに交換するか、電池を取り出してください。

11. 明暗センサー

時計周囲の明るさを感知するセンサーが付いています。これにより、暗くなると秒針が12時位置に到達したときに停止し、明るくなると早送りで現在時刻の秒位置に移動します。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。

12. おもな製品仕様

自動受信回数

条 件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 秒針 ±1 秒 時針・分針 目盛に対して±3 度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒 (常温中のクォーツ精度)
使 用 温 度 範 囲	-10~+50℃
使 用 電 池	単3形アルカリ乾電池 (JIS規格 LR6) 2 個
電 池 寿 命	約2年
そ の 他	標準電波 自動受信による時刻修正 40/60kHz 自動選択 電波受信 ON/OFF スイッチ 受信表示ランプによる状態表示 明暗センサーによる暗所での秒針停止 電池交換時期のお知らせ機能

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときのものです。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池	2 個			
取扱説明書	本書	保証書		1 枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

お問い合わせの際は、時計裏面または底面などに表示してあります製品番号をお伝えください。（例 4RY 〇〇〇）

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

(Y0709)